




| | | | |
|----------|---|---|---|
| 收受年月日 | 議 長 | 事務局長 | 書 記 |
| 29・12・12 |  |  |  |
| 第 116 号 | | | |

平成 29 年 12 月 12 日

埴町議会議長 大縄武夫 様

予算決算常任委員会委員長 小林達信



所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第 77 条の規定により報告する。

記

1 調査事件 埴町振興計画（実施計画）について

2 調査の経過

本委員会は、平成 30 年度から平成 32 年度を計画期間とする埴町振興計画（実施計画）案について調査した。

調査日 平成 29 年 12 月 12 日（火）9：00～12：33

出席委員 予算決算常任委員全員

説明員 町長、教育長及び各機関の説明委任者

職務出席者 議長、議会事務局長、書記

場 所 議場

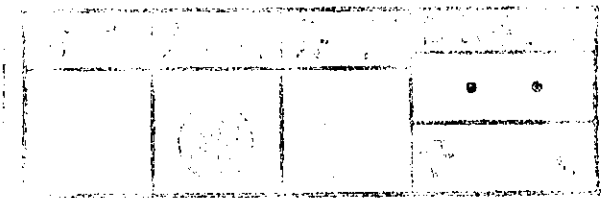
3 調査の結果

(1) 結果

計画期間の歳入歳出見込み額は、次の表のとおりである。（単位百万円）
なお、平成 32 年度末財政調整基金の額は、762 百万円とのことである。

| 見 込 額 | 30 年度 | 31 年度 | 32 年度 |
|----------|-------|-------|-------|
| 歳 入 | 6,252 | 6,304 | 6,220 |
| 歳 出 | 6,047 | 6,053 | 6,162 |
| 財政調整基金残高 | 934 | 937 | 762 |

個別事業計画については、説明員からその概要の説明を受けたが、さらに検討を要する事業も含まれているので、予算計上にあたっては、効果性、効率性の観点から更なる検討を望みたい。



(2) 主な質疑

質：中期財政見通しで町税増額は何を見込んでいるのか。

答：平成 29 年度は当初予算を計上し、平成 30 年度以降は過去の決算額を基に推計している。平成 29 年度決算見込み額は町税で約 9 億円となる。

質：町では長期の財政計画はあるのか。

答：町は 10 年見通しを中期とし、長期の財政見込みは現在ない。

質：公民館木野反分館建設事業が平成 32 年になる理由は。また、地元の了解は得ているのか。

答：町財政が厳しく、こども園建設が終了してからのとした。地元の建設委員長の了承は得ている。

質：あぶくま高原美術館事業費が上がっているが、冬季休館しないのか。

答：冬季休館はする。地元区の要望で管理委託料の単価を増額した。

質：湯遊ランドはなわの大広間屋根改修工事が記載されていないが検討しているのか。

答：埴町振興公社からも要望があり今年度見積もりを徴している。今後、早急に事業計画を立てていきたい。

質：図書館業務委託事業の事業費が年々上がっていく理由は。

答：消費税の上昇分を見込んでいる。

質：埴町公民館の和式トイレを洋式に変える予定はあるか。

答：洋式トイレにすると面積の確保が難しいので、現在検討中である。

質：幼・少・中特別支援教育支援員の賃金が安いと思うが、支援員から賃金値上げの要望はないのか。

答：採用条件で提示しており、現在までに要望はない。

質：子育て若者定住促進住宅団地 22 区画の一戸当たり面積と販売額の予定は。

答：平均面積は 65 坪 (62 坪～73 坪)、販売価格は近隣の相場も参考とし事業費の確定後決定していく予定である。

質：地籍調査事業が遅れているが、国県補助金はどのくらい減額となっているのか。また、町予算で地籍調査を進める考えはないか。

答：平成 25 年度は 1,560 万円であったが、平成 29 年度は 360 万円となっている。町予算については考えてみたい。

質：川上谷川線の道路整備について一部ではなく全線改良計画はできないか。

答：地元からの要望もあり今後町全体の道路計画として考えていく。

質：道の駅はなわ駐車場の舗装計画はあるのか。

答：今回振興計画には上げてないが、緊急性があれば事業を進めていきたい。

質：農道原材料費で生コン代単価の決め方はどのようにしているのか。

答：近隣の 3 社から見積徴取により決定し、単価契約している。

質：商工業活性化のための商工会への補助金が例年通りとなっている理由は。

答：商工会で実施する各事業の実績に応じて補助金額の決定していくように検討していく。

質：工業団地造成事業の平成 32 年度 2,000 万円は用地測量だけなのか。

答：擁壁工事等の計画も含んでいる。

質：賄材料購入事業費で消費税増額分は見込んでいるのか。また、賄材料費には主食・副食すべての事業費なのか。

答：平成 30 年度は児童・生徒等の人数で算出した金額である。32 年度、33 年度は消費税の増額はあるが、児童・生徒数の減少により金額を同額とした。また、賄材料費は主食・副食すべて含んだ金額である。

質：老人ホーム入所者の人数と場所について。

答：ユーハイムやみぞ 16 名、長生園(石川町)1 名、泉荘(大子町)1 名である。

質：公用車購入計画には、町長車の購入予定はないのか。

答：平成 32 年度に購入予定しているが、状態が悪くなった場合にはそれ以前に購入を考えたい。

質：工業団地造成事業で残土が流失しないように要望しているが、平成 30 年度に計画がない理由は。

答：振興計画には計上してないが、流失防止については平成 30 年度当初予算で検討していきたい。

質：住まいる環境リフォーム補助金は、平成 31 年度以降、埴町だけの事業終了となるのか。

答：財源が復興基金であり平成 30 年度で基金終了となるため平成 31 年度以降の計画はない。今後は高齢者リフォーム事業に予算をシフトしていきたい。

質：子育て若者定住促進住宅団地整備事業は国県補助金事業とならないのか。

答：宅地造成事業で利用者への宅地販売のため補助事業はない。

質：旧焼酎工場の屋根の修繕は平成 31 年度でよいのか。雨漏りはしていないのか。

答：焼酎工場再稼働にむけて、新たな企業誘致のための改修であり、現在は雨漏りしていない。

